

年齢：62歳

性別：女性

主訴：前歯の歯茎が腫れて食べ物が当たると痛い

治療内容：抜歯後、インプラントが埋入できるように歯槽骨の造成を先に行い、6か月後にサージカルテンプレートを用いてインプラントを埋入。4か月後に歯肉の造成処理を併用し2次手術を行い、仮歯を装着、その後最終補綴物を装着しメンテナンスに移行

治療期間：12か月

費用：1410480

リスク：治療後の口腔衛生管理とメンテナンスを行わなかった場合、インプラント周囲に感染、炎症を起こしインプラントが脱落することがあります

術前



拔牙後

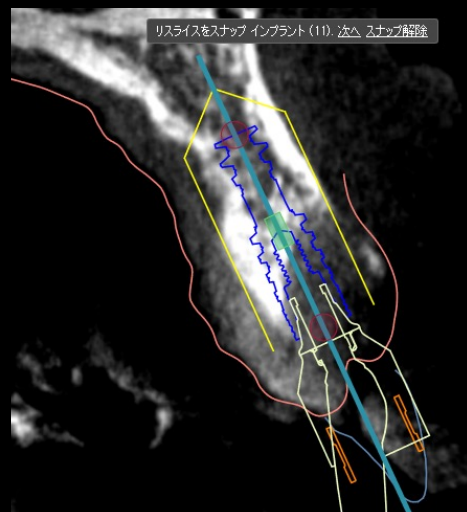
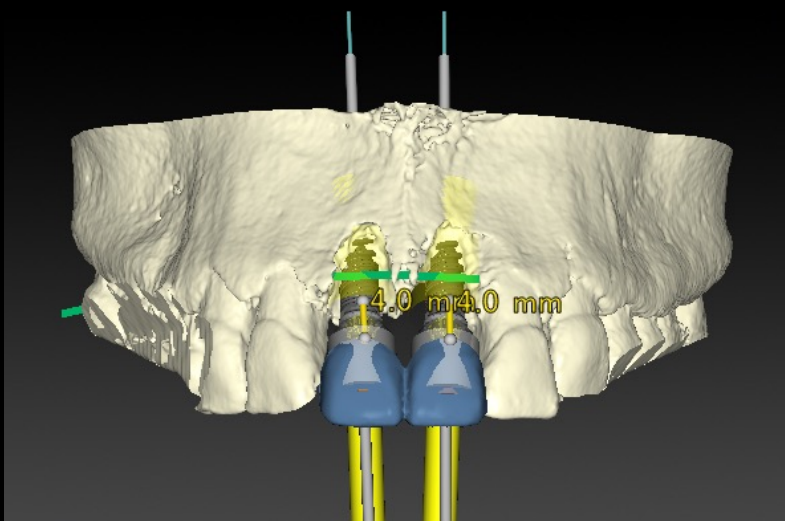


ワックスアップシミュレーション

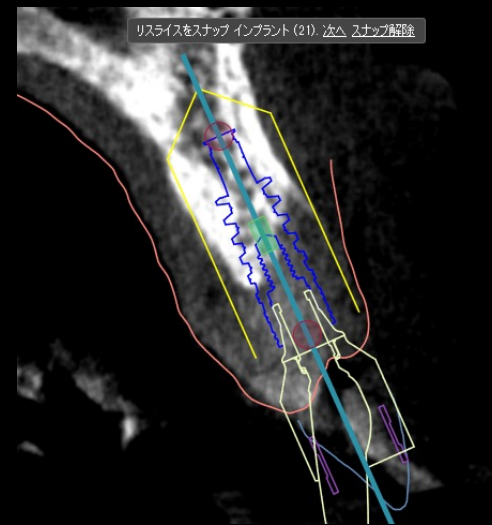


理想的な歯の形態をワックスにて再現し、最終形態に対してどの位顎堤の造成が必要になるか術前に確認する

術前CT シミュレーション



1 1



2 1

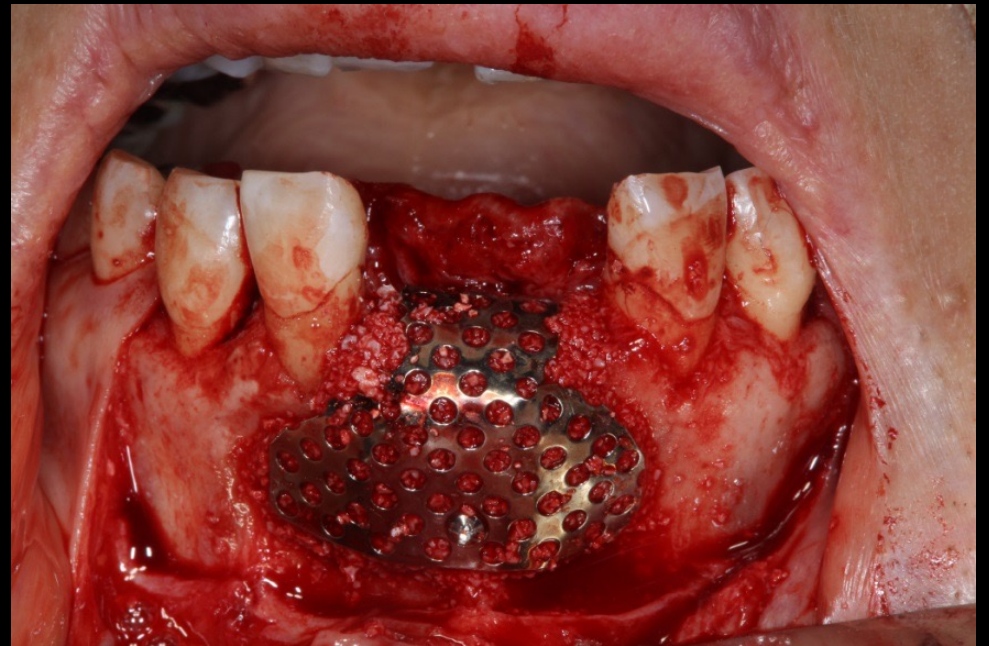
顎堤の吸収が著しく理想的な歯冠形態を支えるインプラント埋入位置をシミュレーションしてみると明らかに骨が足りないことがわかる

3Dプリンターにて顎骨を作製

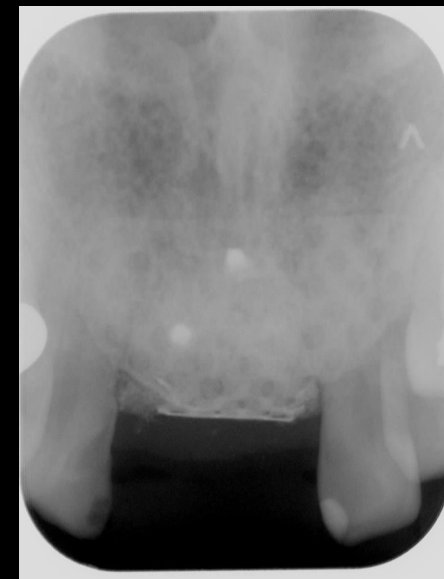
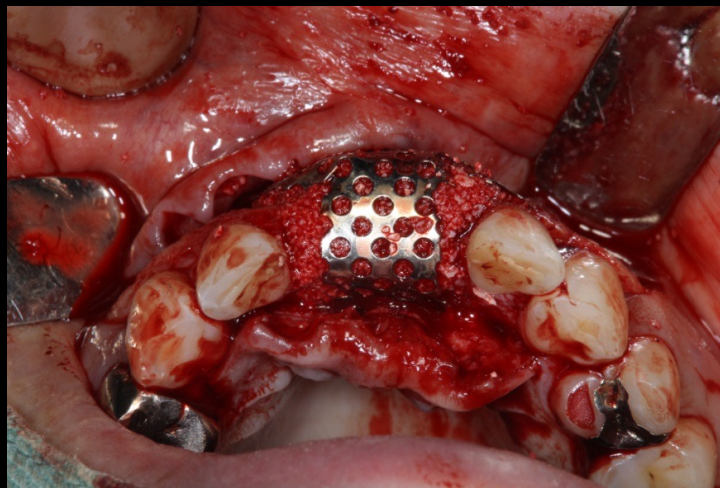
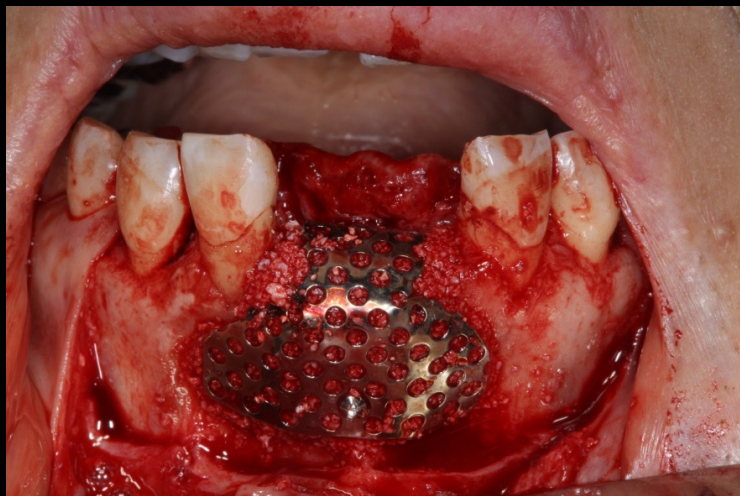


顎骨の造成を行うにあたりCTデータから3Dプリンターにて顎骨模型を作製し、造成する骨を賦形しやすいようにチタンの補強プレートを術前に顎骨に合わせて作製しておく

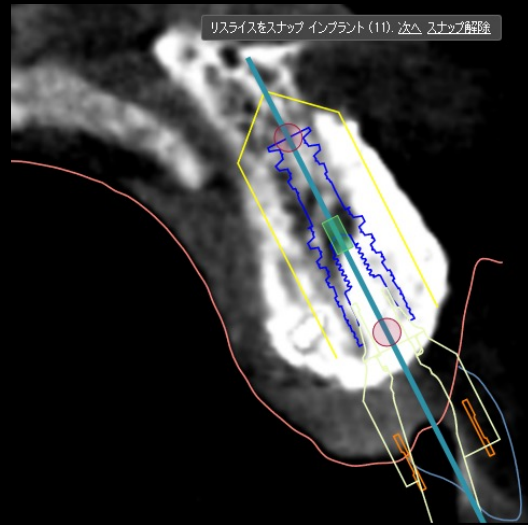
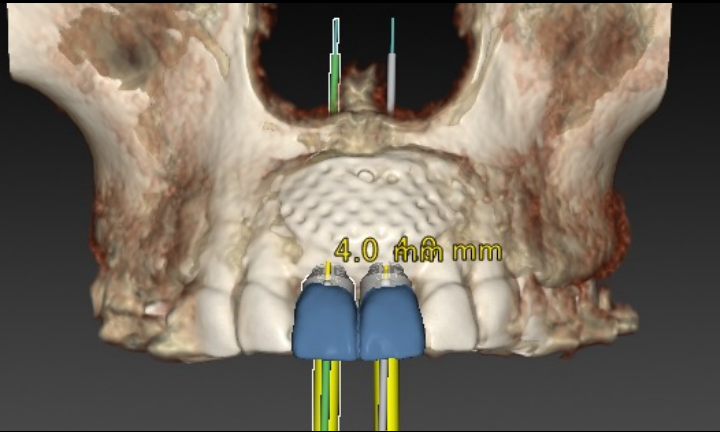
骨の造成にチタンプレートを装着



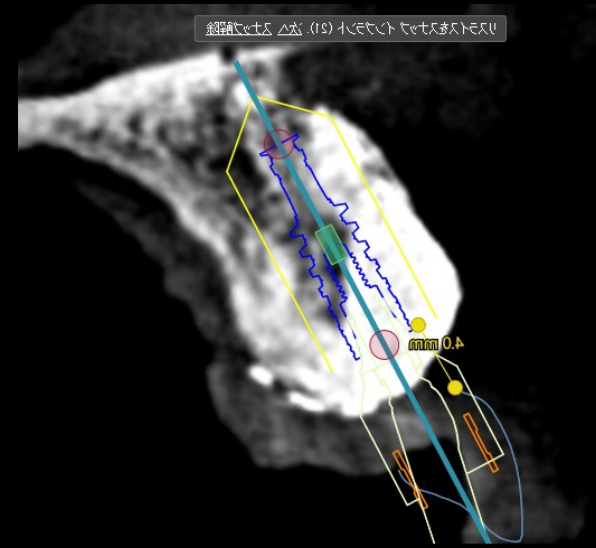
骨の造成術



骨移植後の再CTシミュレーション



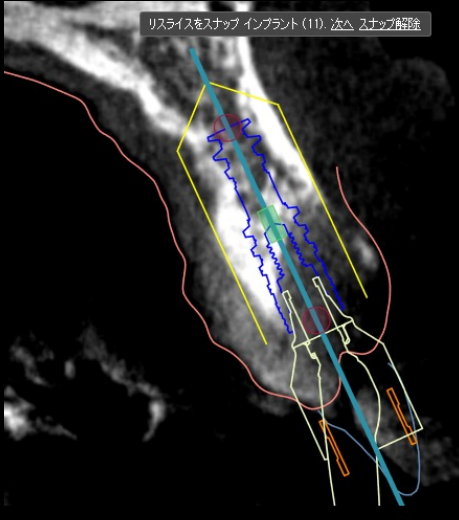
1 1



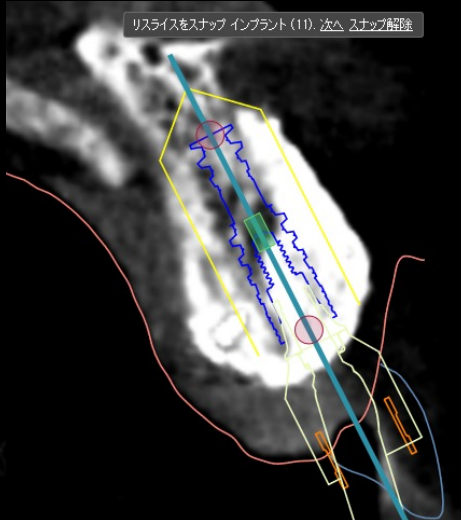
2 1

骨移植後のCTシミュレーションからインプラント周辺には十分な骨の造成が出来ていることが確認できる

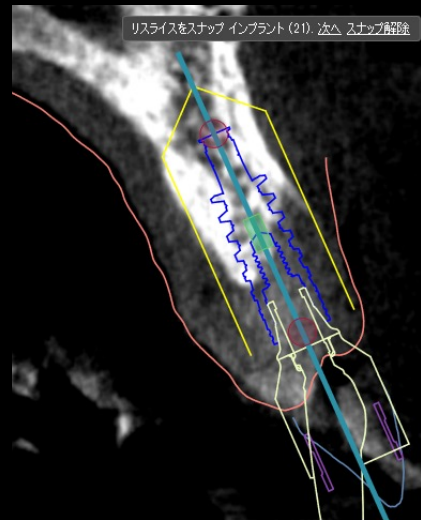
術前 骨移植後のCTの比較



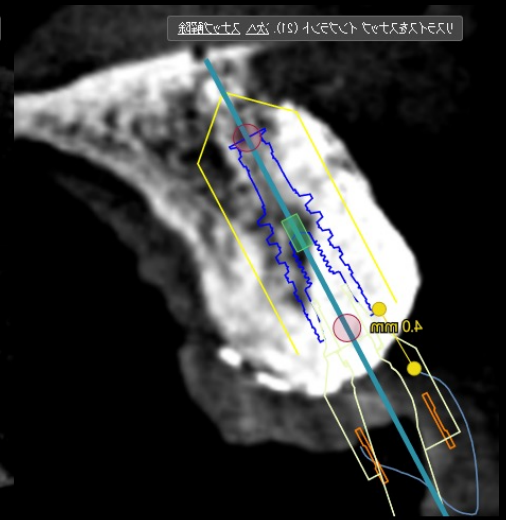
1 1 before



1 1 after

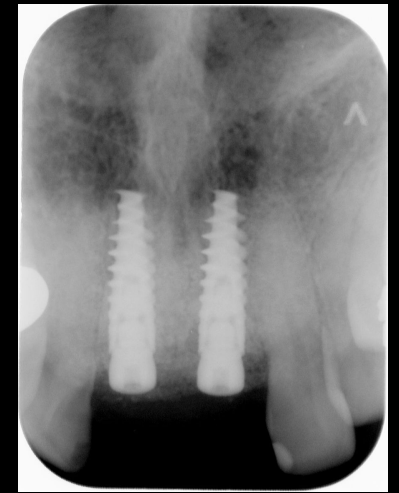
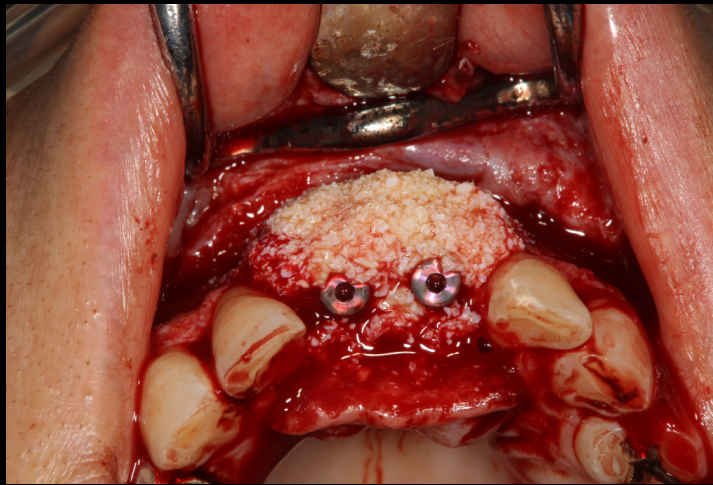


2 1 before



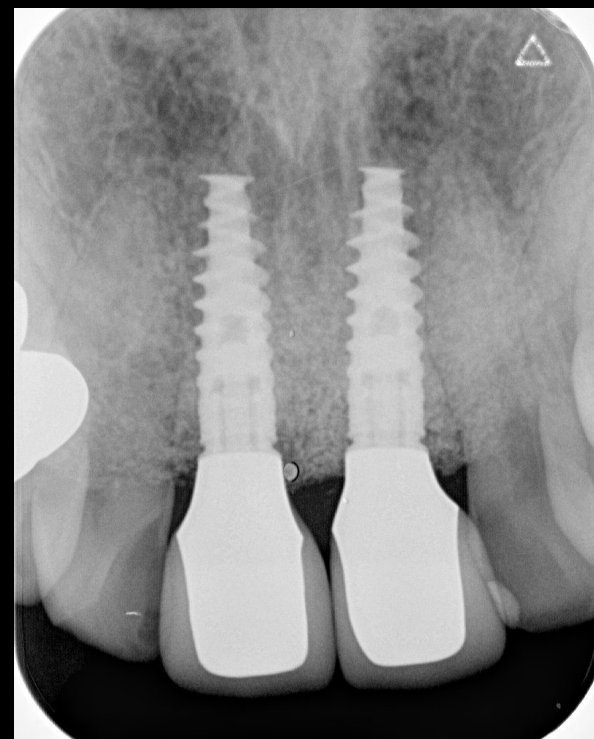
2 1 after

インプラント埋入



サージカルテンプレートを用いてシミュレーション通りの位置に正確にインプラントを埋入し、追加の骨増生を行った

最終補綴装着後



術前



術後

